

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

リスクマネジメントは色々な分野が対象になるが、本授業では企業経営と金融分野におけるリスクマネジメントの理論と実例を対象とし、日本政策投資銀行（元・日本開発銀行）における実務経験に基づいて実際に起こった幾つかの経済・金融恐慌についてどのようにリスクに対処（マネッジ）するのかを分かり易くかつ詳細に講義します。特に、金融分野のリスクについては市場リスク、信用リスク、流動性リスクなどについて具体的なリスク対処手法について講義します。また 1929 年世界大恐慌、日本のバブル崩壊後の経済・金融恐慌（1990～98 年）、リーマンショック・ユーロ経済危機（2007-10 年）に内在したリスクとその政策的対処方法について講義します。講義の理解を深めるために、毎回授業の後半にその日の復習として 15 分程度のライティング（ミニット・ペーパーと呼びます）をおこないます。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション授業：授業の進め方・リスクマネジメント論講義の全体概要
第 2 回	(A) 企業経営におけるリスクマネジメント：基本論理・リスクの測定方法
第 3 回	企業リスクマネジメントの実例（1）東京電力・東芝・東京ディズニーリゾート他
第 4 回	企業リスクマネジメントの実例（2）コマツ・雪印乳業・英国プレミア・リーグ
第 5 回	企業リスクマネジメントの実例（3）日本列島における自然災害と企業のリスク対策
第 6 回	(B) 金融分野におけるリスクマネジメントの基本論理・定義・種類・歴史
第 7 回	金融部門におけるリスク分析の定義と測定方法（確率分布）
第 8 回	市場リスク：バリュー・アット・リスク、モンテカルロ・シミュレーション他
第 9 回	信用リスクの実例（1）格付けの概念・信用格付けモデルの構築と検証
第 10 回	信用リスクの実例（2）格付けのケース・スタディー（社債・国債・地方債）
第 11 回	流動性リスクの実例（国債の償還リスク）、リスクとリターンの理論と実例
第 12 回	(C) 経済危機・金融危機に潜むリスクの所在
第 13 回	1930 年代の世界大恐慌・1997 年アジア通貨危機
第 14 回	1990-2000 年のバブル崩壊と日本経済の経済停滞・2007-2010 年リーマンショック
第 15 回	全体のまとめ・質問と回答
第 16 回	筆記試験

到達目標

リスクマネジメントについての主要な用語や分析ツールを理解して、実際の企業や金融機関がどのようにリスクに対処しているのかについて理解できるようにする。リスクマネジメントの理論と実例を結びつけて理解できるようにすることを目標とします。

履修上の注意

本授業のための専用ノートを用意して講義内容を記録してください。授業で配布する資料は時系列的に自分のファイルに綴じてください。遅刻は減点になります。

予習復習

予習と復習の項目について授業時に指示します。全体で 4 回程度宿題を出しますので翌週の授業のときに必ず提出してください

評価方法

定期試験 60%、授業内レビュー・ライティング（毎回ミニット・ペーパー作成）等 40%

テキスト

簡易テキストとプリントを随時配布します。参考書は『事例で学ぶリスクマネジメント入門』（同文館出版）、『金融リスクマネジメント』（東洋経済新報社）、『リスクマネジメント』（ミネルヴァ書房）